



「書く力を育てる授業を考える」

講師 築島史恵氏

日常生活の中で、みなさんは、どのようなものを書いていますか。授業では、学生にどのようなものを書かせていますか。今回のワークショップでは、授業の中で「コミュニケーションの一つとして書く」力を伸ばすための課題の立て方や活動を取り上げます。また、できれば同様に、「コミュニケーション力としての書く力」を評価する方法についても一緒に考えたいと思っています。

日程 2016年10月22日（土）

会場 国際交流基金ブダペスト日本文化センター
1062 Budapest, Aradi u. 8-10

参加費 無料

講師プロフィール 築島史恵(やなしま ふみえ)氏

国際交流基金日本語国際センター専任講師、政策研究大学院大学連携教授
主な著書に、国際交流基金日本語教授法シリーズ8『書くことを教える』、同 7『読むことを教える』、同 10『日本文化・日本事情を教える』、『DVDで学ぶ日本語エリンが挑戦！にほんごできます。』vol.1-3、等がある。

プログラム

- 9:30 受付
- 10:00 ワークショップ「書く力を育てる授業を考える」
- 12:50 昼食 * 昼食はケータリングをご用意いたします
- 13:50 実践報告・研究発表
- 16:30 閉会

お申し込み・お問い合わせはこちらのURLから
<https://goo.gl/HkOw8J>

13:50 コンツ・ガーボルネー (ドナウヴァルシャーニ・アールパード族長小学校)

発表言語:ハンガリー語

「国際交流基金の日本語教師短期研修経験」

小学校の教員として国際交流基金の日本語教師短期研修プログラムに参加することができました。日本語と会話の練習以外に、教育方法や日本文化に関する知識も深めることができました。写真のプレゼンテーションを通して浦和研修センターの生活を紹介したいと思います。

14:20 後藤将太 (カーロリ・ガシュパール・カルビン派大学)

発表言語:日本語

「カーロリ大学日本学科プレゼンテーションコンテスト」実践報告

カーロリ大学日本学科における日本語の授業で行った「プレゼンテーションコンテスト」における実践報告を行う。活動の狙い、学生の活動の様子、本活動の効果、等についてお話す。

14:50 チェンドム・アンドレア(エトヴェシュ・ロラード大学大学院生)

発表言語:日本語

「ハンガリーにおけるくずし字教育の可能性 — 原文で黄表紙を読もう」

日本文化を研究しているとしばしば出てくるくずし字だが、ハンガリーの日本語教育には、くずし字教育がまだ存在しない。非母語話者の研究者は、日本語のくずし字を解読する時にどのような困難に直面するのか、くずし字をどのように教えれば良いのか、などと言った論点を、黄表紙の解読にそって考察していきたいと思う。

15:20 小野久禎(エトヴェシュ・ロラード大学)

発表言語:日本語

「教室で文法を明示的に教えること」

クラッセン(1985)は、学習は言語の習得には関係がないと主張している。では、教室で教師が明示的に文法を教えることに意味があるのだろうか。また、教室でのL2学習者はどのようにして文法を習得したいと思っているのだろうか。教室で文法を教えることの意味について考える。

15:50 若井誠二(カーロリ・ガシュパール・カルビン派大学)

発表言語:日本語

「外国語教育白書と日本語教育関係者が取り組むべき課題」

人材省教育担当次官局は2012年に外国語教育白書を出版しました。これは2012年における外国語教育の現状と、2018年までの間に国が外国語教育に対して取るべき戦略について記されたものです。本発表では、同白書の内容を受け、ハンガリーの日本語教育発展のために関係者が取り組むべき課題について取り上げます。

お申し込み・お問い合わせはこちらのURLから

<https://goo.gl/HkOw8J>